

13:1 私があなたがたのところへ行くのは、これで三度目です。すべての事実は、ふたりか三人の証人の口によって確認されるのです。
 13:2 私は二度目の滞在のときには前もって言つておいたのですが、こうして離れている今も、前から罪を犯している人たちとほかのすべての人たちに、あらかじめ言っておきます。今度そちらに行つたときには、容赦はしません。
 13:3 こう言うのは、あなたがたはキリストが私によって語つておられるという証拠を求めているからです。キリストはあなたがたに対して弱くはなく、あなたがたの間にあって強い方です。

13:4 確かに、弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力のゆえに生きておられます。私たちもキリストにあって弱い者ですが、あなたがたに対する神の力のゆえに、キリストとともに生きているのです。

13:5 あなたがたは、信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい。それとも、あなたがたのうちにはイエス・キリストがおられることを、自分で認めないのですか。・・あなたがたがそれに不適格であれば別です。・・

13:6 しかし、私たちは不適格でないことを、あなたがたが悟るように私は望んでいます。

13:7 私たちは、あなたがたがどんな悪をも行なわないように神に祈っています。それによって、私たち自身の適格であることが明らかになるというのではなく、たとい私たちは不適格のように見えても、あなたがたに正しい行ないをしてもらいたいためです。

13:8 私たちは、真理に逆らっては何をするこ

ともできず、真理のためなら、何でもできるのです。

13:9 私たちは、自分は弱くてもあなたがたが強ければ、喜ぶのです。私たちはあなたがたが完全な者になることを祈っています。13:10 そういうわけで、離れていてこれらのことを書いているのは、私が行ったとき、主が私に授けてくださった権威を用いて、きびしい処置をとることのないようにするためにです。この権威が与えられたのは築き上げるためであって、倒すためではないのです。

13:11 終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりなさい。慰めを受けなさい。一つ心になりなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

13:12 聖なる口づけをもって、互いにあいさつをかわしなさい。すべての聖徒たちが、あなたがたによろしくと言っています。

13:13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。

教会を「築き上げる」ために使命と責任が与えられている人には「権威」も与えられています。牧師だけでなくグループのリーダーやミニストリーのまとめ役、教会の長老や役員もそうです。それぞれの権威の範囲は違いますが、神様から与えられていることでは同じです。

ましてやパウロは使徒でありコリント教会の牧会者という責任と権威が与えられていればから、必要があれば「容赦はしません。」というような毅然とした態度も取らなければなりません。その権威はイエス・キリストから与えられたのでから、「キリストが…語つておられる」ので

あって、キリストによって立てられた人を尊重して従うことはキリストに従うのです。もちろん人間には不完全さがあります。しかし「真理に逆らっては何をすることもできず、真理のためなら、何でもできるの」ですから、互いに神様の真理を追い求める（つまりことばを学び、現実に適応する）ことによって、神様のみこころを共有することによって、神の働きは「築き上げ」されることになります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

